

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871500025
法人名	有限会社やわらぎ
事業所名	グループホームやわらぎ川内
所在地	東温市南方1787-2
自己評価作成日	平成22年6月27日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年7月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

夏祭り、手作りおやつ

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所内は、木のぬくもりを感じる造りになっており、窓からは庭や田畑、山々が眺められる。「床の肌触りが気持ちいい」と、素足で過ごされている方もあった。庭で摘んだ草花を居間に飾っておられたり、利用者の習字の作品が飾ってあった。テレビを囲んでソファが配してあり、手作りの肘かけ等も利用しながら、高校野球やDVDで時代劇を楽しんでおられる様子もうかがえた。</p> <p>事業所は、新たに地域の組に加入されて、地域行事の情報を知ることができたり、川掃除に職員が参加して地元の方達と活動されている。又、事業所で夏祭りを行う際には、近所の方に駐車場をお借りしたり、又、事業所の周りの畑で農作業をされている方達とも顔見知りになり、スーパー等で会った時にも、お互いが声を掛け合うことが多くなっている。時々、野菜の苗や採れた野菜をいただいたり、雨降りの日に、事業所に踊りや歌等のボランティアの方が来てくださる時には、ご近所の方にも声をかけて、一緒に楽しまれた。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームやわらぎ川内

(ユニット名) B棟

記入者(管理者)
氏名 高場 淳也

評価完了日 22年6月27日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			事業所の理念、スタッフ全員で考えた理念を作り、実践に努めている。	
			(外部評価)	
			事業所の理念に沿って、ユニットごとに理念を作成して、事業所の理念を具体的に実践できるようにされている。年度末には、職員で振り返り、新年度からのユニットの理念を作成されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地域の掃除に参加したり、近所の方と気軽に挨拶し、少しずつではあるが、交流している。	
			(外部評価)	
			事業所は、新たに地域の組に加入されて、地域行事の情報を知ることができたり、川掃除に職員が参加して地元の方達と活動されている。又、事業所で夏祭を行う際には、近所の方に駐車場をお借りしたり、又、事業所の周りの畑で農作業をされている方達とも顔見知りになり、スーパー等でお会いした時にも、お互いが声を掛け合うことが多くなっている。時々、野菜の苗や採れた野菜をいただいたり、雨降りの日に、事業所に踊りや歌等のボランティアの方が来てくださる時には、ご近所の方にも声をかけて、一緒に楽しめました。今後は、事業所の行事の案内を回覧板で回して、足を運んでいただき、地域の方も一緒に楽しめるよう、取り組んでいきたいと話しておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議等で今後話していきたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者や家族の方に意見して頂くよう努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は事業所の居間で行っておられ、利用者の状況やレクリエーション、行事の報告をされて、出席者に感想を聞いておられる。地域の代表者の方から紅葉のきれいな場所を教えてください、出かけてみられたこともある。</p>	<p>事業所では、「地域の方達に事業所のことをさらに知ってもらえるような会議にしたい」と考えておられる。又「ケアの向上につながるような話し合いがしたい」と話しておられた。今後、老人会の方に声をかけて会議に参加いただき、認知症のこと等について、ともに学んだり、近隣の特養の職員の方等にも声かけする等、出席者を工夫していきたいと考えておられた。又、ご家族や利用者、職員等の出席も増やして、事業所をさらによくしていくための具体的なご意見をいただけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域包括支援センターの相談員が月に一度訪問され話をしている。市町村担当者とは日頃からの連絡はない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域包括支援センターの担当者の方が、運営推進会議時に、事業所の感想を聞かせてくださったり、地域のサロンを紹介してくださった。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>昼間は施錠無く、出入りできるようにしている。身体拘束しないよう努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、利用者は自由に玄関を出入りされており、食後に、庭の草引きに出られたり、食前、食後に玄関外の喫煙場所で煙草を吸っておられる方もみられた。利用者ひとりで外に出られている時には、事業所前の畑で作業中の地域の方が、ご本人に話しかけてくださっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 学ぶ機会はないが日々、気を付けている。言葉遣いも気を付け、防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) あまり活用できていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の際、十分な説明、理解を図っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見を聞くよう努めている。運営推進会議等でも聞くよう努めている。 (外部評価) ご家族が、事業所の飼い犬の散歩をしてくださったり、職員研修に参加してくださることもある。ご家族へは、法人内介護事業所全体の「やわらぎだより」と、毎月、利用者一人ひとりの担当職員が、ご本人の日頃の活動の様子等を書いた手紙を送っておられ、ご家族の来訪時には「動物園に行ったんだってね」等、ご家族と利用者ご本人、又、職員との会話のきっかけになっているようだ。	今後「やわらぎだより」を通じて、職員の紹介を行うことを決めておられた。又、運営推進会議で話し合ったことをご家族に報告されたり、日中の過ごし方や外出支援等、事業所全体で力を入れて取り組んでいることを伝えながら、具体的にご意見をうかがってほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1回、スタッフ会を開き話し合っている。	
			(外部評価)	
			法人代表者等が事業所に時々来られ、職員に話しかけてくださったり、管理者やユニットのリーダーは、職員個々の意見等を聴き取り、職員の人員体制の充実等を提案して採り入れられており、職員数が増えたことで、より細やかに見守りができるようになったようである。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			少しずつ職場環境・条件等の整備等、変化しているが、十分でないこともある。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			法人内外の研修を積極的に進めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			月に1度、地域会議に参加している。同グループ内で研修等も行っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			本人の話をよく聞き入れるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	本人、家族からの要望、困っていることをお聞きし、関係づくりに努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	本人、家族から話を聞き、状況に応じた対応に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	職員、利用者がお互いに楽しく過ごせる関係づくりに努めている。教わる機会を今後増やしていきたい。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	手紙のやり取りをされたり、面会時に気軽に話ができるよう関係づくりに努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	今まで行っていた所、スーパーや散髪屋等を利用するよう努めている。いつでも面会できるよう努めている。	
			(外部評価)		
			利用者の故郷を訪ねたり、ご家族と電話や手紙のやり取りができるよう支援されている。又、習字が得意な利用者の作品をコンテストに応募して入賞された。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者同士で話されたりTVを見たりされ、その時に応じ支援している。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	相談があれば、支援するよう努めている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	利用者の思いや訴えに耳を傾けている。できる限り希望を聞くよう努めている。
			(外部評価)	
				介護計画作成時には、利用者個々の担当職員が、他の職員に聞き取りながら、利用者個々の趣味や性格、好きなこと等の情報を集めておられる。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	本人、家族の方に話を聞き、把握に努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	一人ひとりの表情等、記録に残し、現状の把握に努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族と話し、スタッフ会で話し合い介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>3か月ごとに介護計画を見直し、毎月、職員でモニタリングをされて、状態の変化時には随時見直すようにされている。ご家族から「外出の機会を増やしてほしい」というような要望があり、計画に採り入れて支援された。</p>	<p>さらに、ご家族から具体的なご意見や要望を出していただけるよう、話し合ったり、相談するような機会を作ってはどうか。事業所では、計画の内容や表現等についても職員と話し合っていきたいと考えておられ、より利用者主体の生活を支援できるような計画の作成に取り組んでいかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別記録、連絡ノートに記入し、情報を共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>できる限り、一人ひとりのニーズに柔軟な対応をするよう努めているが、できていないこともある。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>通い慣れた病院に受診したり、買い物に行ったりしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			本人、家族に話を聞き、受診するよう努めている。	
			(外部評価)	
			ご家族のご都合等に合わせて、利用者個々のかかりつ け医の受診時には、職員が同行されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			看護師はいないが、かかりつけ医に相談、連絡してい る。	
			(外部評価)	
			入院時、関係者との情報交換、相談している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院時、関係者との情報交換、相談している。	
			(外部評価)	
			早い段階から、家族、Drとできていない為、今後話 し合っていく。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			早い段階から、家族、Drとできていない為、今後話 し合っていく。	
			(外部評価)	
			ご家族に、看とりの希望等についてアンケートを取っ ている途中である。「ご家族の気持ちは変わるもの」 と捉えて、今後は毎年アンケートを取ることを決めて おられた。近く、看とり支援について法人で研修があ り、ご家族にも参加いただけるよう声かけをする予定 になっていた。終末期に入り、居室で横になって過 すごすことが多くなった利用者があるが、ご本人が好ま れるのと越しの良い「甘いもの」や水分を摂ってもら えるよう、お聞きしながら支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的な訓練は行えていない。個々で講習している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2回、避難訓練を行っている。地域との協力体制はまだできていない。	
			(外部評価) 消防署の方に「避難経路にものを置かない」「利用者誘導時には声をかけると遅れる」「いざという時には外に向いて大きな声を出す」等をアドバイスいただいた。今後、運営推進会議等を活用して地域の方達とともに避難訓練を行っていくことを考えておられた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとり言葉掛けに気を付け、対応している。	
			(外部評価) 職員は、利用者に料理のレパートリーや調理方法を教えてもらったり、洗濯物干しや買い物等、一緒に生活しながらサポートされている。職員は、笑顔で利用者に接することを心がけておられた。	職員は、日々の中で「利用者への声かけや対応について配慮が必要な場面もある」と感じておられる。職員が気付いたことは、ケアの改善に向けての起点でもある。この機会を捉えて、職員の気付きを持ち寄り、日々のケアを点検するような機会にされてはどうか。貴事業所のさらなるケアサービスの質向上に向けて、取り組みをすすめていかれてほしい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 何か行う際、利用者の理解を得るようにし、本人の思いや希望に添うよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースに合わせて生活されているが、時々、職員側のペースになっていることがある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) その人の好みに合わせて身だしなみされ、女性の方にはマニキュアを塗ったりし、お洒落を楽しんで頂いている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 楽しく食事できるよう心掛けている。食器拭き等の片付けをされる方もいる。	
			(外部評価) ユニットごとに、職員と利用者が相談して献立を立て調理されている。職員は、日常的に利用者と一緒に買い物に出かけておられ「お魚が食べたい」と利用者が希望される時には、一緒にスーパーで魚を選んでもらっている。庭の梅でジュースを作ったり、調査訪問時には、大きく育てていたきゅうりを事業所の菜園から採って来られた利用者もあった。食が進まない方には、好きな果物をすすめられたり、食材を小さく切ったり、ミキサーにかけたりしながら、できる限り口から食べられるように支援されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとり食事量、具の大きさ等気を付けている。水分もコーヒーやジュース等、飲みやすい物を工夫している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後、口腔ケアの声かけを行っている。磨きにくい方は介助している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			できる限り声かけし、トイレ誘導を行っている。	
			(外部評価)	
			利用者個々の排泄の記録を取って、声をかけたり、トイレに誘導して支援されている。布パンツを好まれ、汚れたらご自分で洗うような方もあり、ご本人の意向を尊重して、職員はそっとサポートされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			牛乳を飲んで頂いたり、水分を摂ってもらっている。入浴時、腹部マッサージを行ったりし気を付けている。	
			(外部評価)	
			できる限りタイミングに合わせ入浴して頂いているが、できていないこともある。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			終末期に入り、居室で横になって過ごすことが多くなった利用者は、お風呂がお好きだったことから、医師と相談しながらストレッチャー等を使ってシャワー浴ができるよう支援されている。	
			(外部評価)	
			時々、人によって昼寝されている。夜間もその人に合った時間で休んで頂いている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			時々、人によって昼寝されている。夜間もその人に合った時間で休んで頂いている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ファイルを作り、目的や副作用について把握している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 習字をされたり、畑作りをされたり思い思い気分転換されている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 家族の方と一緒に外出される方もおられる。買い物に出掛けたり、外に出られるよう支援している。	
			(外部評価) 日々、事業所の敷地内を散歩されたり、飼い犬の散歩に職員と出かけておられる。大型スーパーに買い物に行かれたり、父の日には、男性の利用者で出かけられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物に出掛けられた際、本人の好みに買うよう努めている。お金は事務所で管理させてもらっている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば電話をかけられている。こちらから声をかけ、家族の方に手紙を書いて頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			掲示物を飾ったり、季節の花もフロア内に飾っている。温度や明るさも気を付けている。	
			(外部評価)	
			事業所内は、木のぬくもりを感じる造りになっており、窓からは庭や田畑、山々が眺められる。「床の肌触りが気持ちいい」と素足で過ごされている方もあった。庭で摘んだ草花を居間に飾っておられたり、利用者の習字の作品が飾ってあった。テレビを囲んでソファが配してあり、手作りの肘かけ等も利用しながら、高校野球やDVDで時代劇を楽しんでおられる様子もうかがえた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			TV付近にソファを置いたり、テラス側に座れるスペースを作り、思い思いの場所で過ごされている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			入所時、使い慣れた物を持ち込まれ、家具等を自由に配置されている。	
			(外部評価)	
			テレビを見ながら過ごされる方や、寝たまま電気を消すことができるようひもを長くされている方もあった。野球のお好きな方は、お部屋に選手の写真を飾っておられたり、外出時やご家族の写真を貼ってある方もみられた。タンスに「タオル」「下着」と示してご自分でも分かりやすいようにされていた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			トイレの場所が分かるようにしたりしている。できることは職員と一緒にしたりして頂いている。	